

ワクチンで防げる病気から 赤ちゃんを守りましょう



なぜ生後2か月からなのですか？

A: スタートダッシュが肝心です。
全体のスケジュールや、病気にかかるリスクを考えると、生後2か月から始めることがお勧めです。



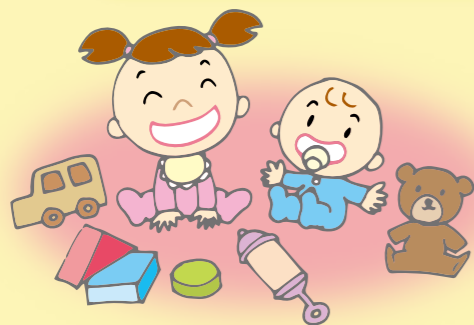
みずぼうそう、おたふくなどは
自然にかかったほうがよいのでは？

A: みずぼうそう、おたふくもこじれると十分に怖い病気です。2回接種することで、しっかりと免疫をつけましょう。



任意のワクチンも受けないといけないの？

A: どれもかかると怖い病気です。
ワクチンで防げる病気なので、積極的に接種しましょう。



福井県の子どもに関する問い合わせ先

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

【福井県健康福祉部】

小児医療について…… 地域医療課 (0776-20-0346)
子育て支援について…… 子ども家庭課 (0776-51-0341)
定期予防接種について… 健康増進課 (0776-20-0352)
心身の発達について…… 障害福祉課 (0776-20-0634)

子育て ワンポイント

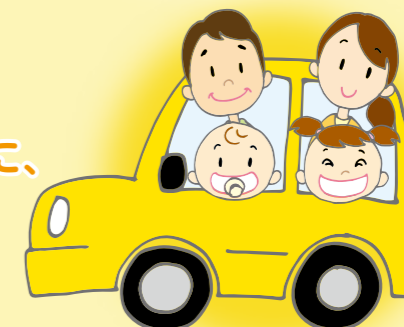
～1か月 おめでとう～

赤ちゃんの個性は様々です。
おとなしい子もいれば、
とてもよく泣く子もいます。



赤ちゃんが、
いまなぜ泣いているのか、
理由が分からないことも、
多いものです。

ママが授乳のほかは眠れたり、
リラックスしたりできるように、
家族みんなで、
十分育児に参加しましょう。



福井県・福井県小児科医会

からだ



- **よく吐く**・・・多くは生理的。体重増加が良いなら問題なし。
- **鼻づまり**・・・哺乳が良ければ、様子を見て良いでしょう。
- **めやに**・・・多くは自然に治ります。続くようなら健診のときにご相談ください。
- **便秘**・・・綿棒で刺激しても良いでしょう。

安全



- うつぶせ寝は止めましょう。
- **赤ちゃんを短い間でもひとりで置いておかない!**

接し方 ・遊び

- **赤ちゃんが起きている時には、たくさん話しかけましょう。**
- **目を合わせ、赤ちゃんが発する言葉をパパ、ママが繰り返すことは、とても良い刺激です。**



予防接種は 生後2か月から

生後2か月からスタート

細菌性髄膜炎を予防する **ヒブワクチン** と **肺炎球菌ワクチン** は生後2か月から受けましょう。

細菌性髄膜炎は生後半年以降に多いので、それまでに済ませましょう（各3回）。

4種混合ワクチン（ポリオ+百日咳+破傷風+ジフテリア）は生後3か月から、**BCG** は生後5か月～8か月までに受けてください。**B型肝炎ワクチン**と**ロタウイルスワクチン**も生後2か月から受けられます。（任意・有料）



早めに接種を済ませるため、同時接種をおすすめします。

複数のワクチンを同時に受けて（同時接種して）も副作用が増えることはありませんし、ワクチンの効果が減ることもありません。
日本小児科学会でも短期間に多くの免疫をつけるために同時接種をすすめています。

予防接種スケジュールの例

		予防接種のタイミング					
		生後2か月	生後3か月	生後4か月	生後5か月	生後6～8か月	生後9～11か月
ワクチン (定期)	ヒブ	1	2	3			
	肺炎球菌	1	2	3			
	4種混合		1	2	3		
	BCG					1	
ワクチン (任意 有料)	B型肝炎	1	2			3	
	ロタ(経口)*	1	2	3			

*ロタウイルスワクチンには2回のもものと3回のもものがあります。どちらを選ぶかはかかりつけ医と相談しましょう。

新しいワクチンが導入されたり、制度が変更されたりすることがあります。
具体的なスケジュールは、最新のスケジュールを確認のうえ、かかりつけ医と相談しましょう。

福井県小児科医会